

## 大澤建（バス歌手）

### **Ken Osawa, Bass**

日本大学芸術学部にてホルンと声楽を専攻後、二期会オペラスタジオを優秀賞を受賞して修了。修了公演《魔笛》のザラストロを好演し、その深く力強い声が注目を浴びた。その後、二期会公演《運命の力》、《バラの騎士》、《蝶々夫人》、《カルメン》等に出演し、豊かな声量と存在感溢れる演唱で好評を得る。

1993年、小澤征爾指揮によるベルリオーズ《ファウストの劫罰》でソリストを務め、高い評価を得たのち渡独。ドイツ・ニーダーザクセン州オスナブリュック市劇場第一バス・ソリストとして専属契約を結ぶ。《ドン・カルロ》フィリップⅡ世、《ローエングリン》国王、《ホフマン物語》クレスペル、《セヴィリアの理髪師》バジリオ、《魔弾の射手》隠者、《三つのオレンジへの恋》国王等を持役としてドイツ各地で活躍、「洗練された歌唱と深い響きのバス」、「迫真の演技」等々、新聞・専門誌上で好評を得た。

1997年秋以降、日本に活動の拠点を移し、日生劇場モーツァルト・シリーズ《魔笛》、《コシ・ファン・トゥッテ》、読売日響《ピーター・グライムズ》、名古屋フィル《ワルキューレ》等の出演が続く。加えて日生劇場《セヴィリアの理髪師》、神奈川県芸術文化財団主催《モモ》等にも出演。1999年には、二期会公演《タンホイザー》領主ヘルマンで重厚な歌と演技が絶賛された。2000年は東京フィル・オペラコンチェルトンテでのシュレーカー《はらかな響き》日本初演、フィリップ・グラス《ピース・シンフォニー》日本初演、二期会公演《魔笛》、新国立劇場《サロメ》、大阪フェスティバルホール《コシ・ファン・トゥッテ》、二期会公演ブリテン《真夏の夜の夢》、東京フィル《オテロ》、新国立劇場《魔笛》等に出演。2001年はサントリーホール・ホールオペラ《ドン・カルロ》、チョン・ミョンフン指揮《魔弾の射手》、新国立劇場《ナブッコ》等に出演するほか、東京フィルをはじめ国内主要オーケストラと共演。2002年は、新日本フィル定期《ファウストの劫罰》、モーツァルト劇場《ペレアスとメリザンド》、新国立劇場《椿姫》へ出演。

また、ヘルムート・ヴィンシャーマン指揮のドイツ・バッハ・ゾリステンと共演するなどオラトリオ、リートの分野においても活躍しており、バッハから現代作品まで幅広いレパートリーを持ち高い評価を受けている。二期会会員。